

2018年度計画

下記日程には一部予定を含みます。

3月	【3月7日(水)】2018年度事業計画説明会開催(企業・団体向け) 大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会の事業計画説明
4月	【上旬】受入依頼状等を企業・団体に発送 インターンシップ研修生受入の可否及び インターンシップ受入プログラム合同説明会参加の有無について照会 【4月23日(月)】受入可否・合同説明会参加可否回答締切 上記案内書類(アンケート等)の回答締め切り
6月	【6月2日(土)】合同説明会開催(9:00-17:00) 【6月27日(水)～7月6日(金)】企業・団体の学生面接 学生の研修希望先での面接
7月	【7月初旬】各大学から企業・団体へインターンシップ研修申込書発送
8-9月	インターンシップ研修
9月	【上旬】研修先企業・団体にアンケート送付
11月	【下旬】拡大懇談会開催

各大学インターンシップ連絡先

愛媛大学	松山大学	松山東雲女子大学 松山東雲短期大学	聖カタリナ大学
教育学生支援部 就職支援課 (担当/若宮)	教務部教務課 (担当/國貞・菅)	キャリア支援課 (担当/一楽)	学生部就職課 (担当/蔵前)
〒790-8577 松山市文京町3番 TEL 089-927-8923(直) FAX 089-927-9181 www.ehime-u.ac.jp/	〒790-8578 松山市文京町4-2 TEL 089-926-7137(直) FAX 089-923-8920 www.matsuyama-u.ac.jp/	〒790-8531 松山市桑原3丁目2-1 TEL 089-913-2610(直) FAX 089-931-6402 www.shinonome.ac.jp/	〒799-2496 松山市北条660 TEL 089-993-0731(直) FAX 089-993-0717 www.catherine.ac.jp/

2018年度
事務担当校

編集・発行/大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会

制作/NPO法人えひめ中小企業支援協会

〒791-8057 松山市大可賀2-1-28 アイテムえひめ tel.089-968-3112 fax.089-968-3107

インターンシップ・
プログラム
実施報告書



2017
Internship
Program
Report

大学コンソーシアムえひめ インターンシップ部会

2017年度のインターンシップ研修実施の御礼と 来年度以降の取組への御協力をお願い

大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会 2017年度部会長 **東 洌 則 之**
(松山大学インターンシップ教育実施委員会委員長)

地域の企業・団体のみなさまには、日頃から大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会の活動に、多大なる御支援を賜り、誠にありがとうございます。

本年度は、99の企業・団体のみなさまに、愛媛大学・聖カトリナ大学・松山東雲女子大学・松山東雲短期大学・松山大学の5大学から444名もの学生を快く受け入れていただきました。受け入れていただきました企業・団体さまには、これら多くの学生を指導いただき、インターンシップ研修を無事に終えることができましたこと、重ねて御礼申し上げます。

おかげさまで、大半の学生は、このインターンシップ研修に満足し、高く評価しています。それらの一例として、本実施報告書に「参加者の声」を紹介しておりますので御高覧ください。学生は、アルバイトとしてではなく、研修カリキュラムに沿って、指導を受けながら働くということがいかに責任を伴い、大変であるかを身をもって体験してきました。学んだことを日常の学生生活で活かそうとする学生に対し、大学としてどのようなフォローが必要であるか、引き続き検討して参りたいと思っています。

一方、学生を受け入れてくださった企業・団体のみなさまからも、「インターンシップ研修を担当した職員が成長した」「研修生を受け入れたことで職場が活性化した」等、概ね好評をいただくことができました。これもひとえに、本プログラムの趣旨を御理解いただき、学生と真摯に向き合っていただけた結果だと、心から感謝いたしております。

インターンシップ部会では、次年度以降も学生を送り出す大学側と、受け入れていただける企業・団体さま、双方に有益なインターンシップ研修となるよう、さらなる質の向上に向けて努力して参りたいと存じます。

今後とも、御支援・御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

これまでの経緯



1990年代初頭にバブル経済が崩壊して以後、「失われた10年」はこれまでの日本型システムの多くを変容させ、特にその当時、新卒学生の就職状況が悪化する中で、フリーターやニートといった若者雇用問題が大きな社会問題となっていました。

そのような中、1997年9月、当時の文部省・通商産業省・労働省の三省は合同で「インターンシップの推進に当たっての基本的な考え方」を発表しました。在学中に就業体験を行うというこれまでの学校教育にはない新しい取り組みが政策レベルで模索され始め、今日では多くの高等教育機関でその実践が展開されています。

愛媛県内の高等教育機関でも独自にインターンシップを教育課程に取り入れてきましたが、無差別な受入要請が地域におけるマッチング秩序を混乱させるという事態が発生しました。2003年、受入先等の要望もあり、愛媛県中小企業家同友会の協力を得て、県内4大学(愛媛大学・松山大学・松山東雲女子大学・松山東雲短期大学)が中心となり地域における大学生のインターンシップを統一的に運営するため、「愛媛県内4大学間インターンシップ連絡協議会」が設立されました。

2009年には、愛媛県内で大学コンソーシアムができ、「愛媛県内4大学間インターンシップ連絡協議会」は「大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会」へと移行しました。しかし、設立当初からの目的や地域の各組織との連携関係を変えることなく、2013年度からは聖カトリナ大学も加え、5大学で発展的に事業を展開しています。

1997年
「インターンシップの推進に当たっての基本的な考え方」が発表される

2003年
「愛媛県内4大学間インターンシップ連絡協議会」設立

2009年
「大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会」へと移行

2013年
聖カトリナ大学も加え愛媛県内5大学として発展的に事業を展開

インターンシップへの取り組み

愛媛大学

国立大学は、6年ごとに中期目標を定め、その取組を行っています。法人化以後、現在は「第三期中期目標期間」にあり、2016年度よりその期間が開始されています。愛媛大学は、「輝く個性で地域を動かし世界とつながる大学を創造すること」をVisionとしています。

大学の戦略として、特に重視されているのが「地域の持続的発展を支える人材育成の推進」です。具体的には「卒業生の愛媛県内就職率アップ」「愛媛大学版汎用的能力の習得率アップ」「卒業生に対する企業等の評価アップ」を掲げ、着実にその成果を積み上げています。

2003年の愛媛県内4大学間インターンシップ連絡協議会によるインターンシップが始まって以後、インターンシップは学内で社会へと移行する学生の成長を支える重要な教育活動として位置づけられてきました。毎年約150人以上の学生を送り出し、これまで累積で2000人ほどの学生にコンソーシアムえひめによるインターンシップを経験してもらったこととなりますが、「第三期中期目標期間」では、学内でのインターンシップの重要性がさらに増しています。

愛媛大学は、2016年度、地域の課題を解決するための人材を育成する「社会共創学部」を設置しました。社会共創学部では、トランスディシプリナリーの理念の下、多彩なカリキュラムが用意されますが、社会共創学部の学生のほとんどが就労体験(インターンシップ)を行います。また、「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」の採択により、地域に貢献できる人材を育成するため取り組みが全学で行われています。今後とも変わらぬご協力をよろしくお願い申し上げます。

松山大学

松山大学におけるインターンシップの取り組みは、経営学部において1995年に学生自らが研修受け入れ先と受け入れ交渉を行い、職場研修を行う方式により開始されました。また、経済学部では1998年に愛媛県中小企業家同友会と西四国観光ネットワーク「るーらるぼけっと」の会員企業を中心とした研修受け入れ先に学生を派遣し職場研修を行う方式により開始され、その後制度が統合され、2002年度からは文系学部すべてで実施される全学部共通のプログラムになりました。

さらに、これまでは「共通教育科目」の1つであったインターンシップ関係科目が、2012年度からは独立した「キャリア教育科目」として位置づけられ、大学の教育活動の中で、ますます重要なものとなっています。

本学のプログラムは、前期に事前講義として「インターンシップ活用Ⅰ」(全15回の講義)、夏季休暇期間を利用した「インターンシップ研修」(実働30時間以上、もしくは実働60時間以上の実務研修)、さらに後期に事後講義として「インターンシップ活用Ⅱ」(全15回の講義)という形で実施しております。

松山大学では、2017年度、157名の学生が「インターンシップ研修」を行いました。毎年、研修を受けた学生の代表による研修報告会を開催するとともに、各受け入れ先の研修報告を冊子にまとめ、その成果を公開しています。このような教育活動が可能となっているのも、ひとえに研修生を受け入れてくださる事業所・団体があったからこそであります。インターンシップにご協力いただきました皆さまに心より感謝申し上げますとともに、今後の変わらぬご支援をお願いいたします。

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学

本学では、2003年度より女子大学および短期大学でキャリアサポートセンターを中心にインターンシップ研修を進めて参りました。現在はキャリア支援課において、インターンシップ研修や低学年からのキャリア教育、就職活動に至るまで一貫して支援を行う態勢を整えております。2012年度から2014年度まで取り組んだ文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」では、卒業生や愛媛県内企業等を対象とした産業界ニーズに応える“汎用的能力”に関するアンケートや在学生・卒業生の実態調査を実施いたしました。それらの結果を踏まえ、学生の主体性や課題発見力強化のため様々なキャリア支援プログラムに挑戦しています。

また、教育課程内においてもキャリア教育の取組を行っています。女子大学では、様々な社会人を講師に招き、職業について考える「キャリア論」や「ビジネスコミュニケーション」などの科目を配置し、1年次からインターンシップ研修やPBLを取り入れ初年次教育を強化しました。短期大学では、従来より職業に直結する教育を展開して参りました。中でも現代ビジネス学科では、1年次からインターンシップ研修を含む多様なビジネス体験を取り入れた科目を設置し、ビジネス社会に必要な知識・技能の習得を目指した体系的なカリキュラムを展開しています。

このように女子大学・短期大学ともに、全学を挙げてインターンシップ研修に取り組み、事前・事後指導の拡充に努めております。学内で開催されましたインターンシップ報告会は受入企業・団体様にもお越しいただき、学生の“気づきや振り返り”をサポートして頂いています。自分自身と向き合い、社会人としての責任の重さを痛感したインターンシップ研修の学びが、さらに深まる大変有意義な機会となりました。受入企業・団体の皆様におかれましては、引き続き“働くことの意味・やりがい”などについてもご指導賜り、今後とも主体的に考え行動できる学生の育成に変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

聖カトリナ大学

聖カトリナ大学は、2013年度より大学コンソーシアムえひめのインターンシップ・プログラムに正式に参加させていただいております。本年度(2017年度)で人間社会学科は5年目、社会福祉学科は2年目を迎えました。2018年度は、引き続き両学科が参加させていただきます。

本学では、就職課を中心とした様々なプログラムに加え、正課科目においてインターンシップ研修のための事前指導を行い、学生が社会人として求められる知識やビジネスマナーを習得できるよう、支援を行っています。具体的な授業内容としては、学科担当教員によるキャリア意識の形成や職業観に関する講義・指導、外部講師によるマナー講習など、就職活動を意識した講義やワークを行っています。本学の支援の特徴は、小規模校の強みを活かした、学科教員による“顔の見える”個別指導にあります。研修後には、各自の学びを『インターンシップ研修報告書』として冊子にまとめるとともに、後学期に研修報告会を開催して、成果の共有と振り返り、学科教員からの指導を行っています。

本年度は、2学科で39名(27事業所)をインターンシップ研修に送り出すことができました。参加学生は、研修を通じて職場で働くことの厳しさや責任の重さ、自身の甘さを実感したり、他大学の学生から刺激を受けたりしながら、大きく成長することができました。それぞれが就職活動を行い社会に出ていくにあたって、自らの課題や方向性について考える貴重な機会となりました。学生を受け入れて下さった企業・事業所のみなさまには心より御礼を申し上げます。

2018年度は、聖カトリナ大学が幹事校を務めさせていただきます。至らない点があるかもしれませんが、どうぞご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

2017年度 インターンシップ研修報告

今年度も県内5大学に在籍するたくさんの学生が参加し、インターンシップ研修が行われました。
受け入れ企業向けの事業計画説明会を始め、年間を通じた研修事業の状況をご報告いたします。

事業計画説明会



受入を検討されている54の企業・団体等にご参加いただき、事業の方針やプログラムを説明。その後は大学関係者も加わり「自社の現状についての確認と新しいアイデアの採用について」と題して、ワークショップを開催しました。インターンシップに関する問題点を洗い出しその情報を共有しつつ、よりよいインターンシップ研修づくりに向け討議しました。

合同説明会



愛媛大学、松山大学、松山東雲女子大学、松山東雲短期大学、聖カタリナ大学に在籍する500名以上の学生が参加。早々に満席となり、立って話を聞く学生が出るほどの盛況ぶりでした。その後は、参加企業や団体のプレゼンテーションを聞き、個別面談ブースをまわって研修内容の説明を受けたり、様々な質問をしたり、活発に活動していました。

拡大懇談会



その年のインターンシップ事業を総括するため、毎年この時期に開催しています。今回は、研修生を受け入れていただいた25の企業・団体にご参加いただき「インターンシップ・プログラム構築」ワークショップを開催。各グループごとに、学生がインターンシップに何を求めているか、自社は学生に何を学んでほしいのかといった話題を出し合い、ポスターセッションを行って、参加者全員でそれぞれの状況を共有しました。

3/8
水

4月
【下旬】

インターンシップ受入プログラム合同説明会への参加の有無とインターンシップ研修生受入プログラム内容に関するアンケート送付

5月
【上旬】

アンケート等の締め切り

6/3
土

7月
【上旬】

各大学から学生の研修申込書を研修希望先へ送付

7月
【中旬】

研修希望先での面接

8月～
9月

インターンシップ研修
(5大学合計444名が
99の企業・団体で研修を受ける)

9月
【下旬】

インターンシップ研修生
受入企業へのアンケート
(回収数82/配付数125)

12/8
金

参加者の声

愛媛大学

教育学部 総合人間形成課程 心理学コース 3年 黒河 新

研修先 有限会社 二神塾

私はインターンシップに参加するにあたって、豊かな職業観を養うこと、自らの課題を発見することの2つの目標を立てて活動に取り組みました。

計9日間の研修では、育英キッズでの活動や小学2年生の国語の授業、合宿など様々な業務を体験させていただきました。研修では常に「笑顔」で「積極的」にコミュニケーションをとることを心掛け、多くの方と関わり、たくさんの方を学びました。

私は以前から「人」と関わる仕事に就きたいと思っていましたが、子どもたちや先生方と関わる中で、改めてそれを実感するとともに、私の強みであることに気づき自信にもつながりました。

今回の研修で、社会に出て働くことは責任が生じることであり大変であるが、その分やりがいがあるということを体験的に感じる事ができました。また、私の将来について具体的に考える良いきっかけとなりました。

インターンシップを通して自分の得意なこと、苦手なこと・課題を明確化することができました。今後の大学生活では明確になった長所を伸ばし、短所を克服していきたいです。そして将来の目標を実現できるように経験、努力を重ねていきたいです。

松山大学

経営学部 経営学科 2年 清水 佳奈

研修先 有限会社 ゆうぼく

私は、「自分の適性があるのかを知るため」、「社会人としての経験を積むため」に、インターンシップ研修を希望しました。たくさんの体験ができ、自分の適性を知る機会が多そうであったこと、また今まであまり関わったことのない分野であったため、自分の視野も広がったこと、研修先として有限会社ゆうぼくを選択しました。

研修では、「素直になってみる」、他責思考をせず自責思考をしてみることで、自分の行動も周りの態度も変わっていくというお話を伺いました。また、やる気のない人が周りについていると自分の士気まで下がってしまうというお話を伺い、私も自身の行動を見直すべきだと思いました。面倒くさい、疲れたなど、思っていることを言葉や態度で表すべきではない場面もあります。今後はそのことを忘れずに行動したいと思います。

様々な作業を通して自分の適性についていくつか知ることができました。これからは、自分に向いている作業は何かを考え、それに必要な資格や知識があれば、早めに取りかかりたいと思います。今後の大学生活では、それらの知識を有効に使っていきけるようにしたいと思います。

松山東雲女子大学

人文科学部 心理子ども学科 2年 宮下 夕希

研修先 医療法人ゆうの森 たんぽぽクリニック

「医療の現場を見てみたい、体験してみたい」という思いでインターンシップ研修に参加しましたが、医療への考え方や仕事への向き合い方について整理することができました。

今回の研修で、医療に携わる様々な職種の方々、地域に密着して働く方々に出会い、その方たちが納得して共感して仕事をされていて、それが働く上で大切なことだと学びました。

また、研修中に大学で学んだ語句が出てくるのが何度かあり、今学んでいることがどう現場で使われているのかということが分かりました。今後は、将来の事を考えながら勉学に励んでいこうという気持ちが強くなりました。

医療ソーシャルワーカーの方のお話の中で「自分の価値観やどういったフィルターを持って見ているか理解することが大切」という言葉があり、自分が今どう世界を見ているのか、どう感じているのかを意識して敏感になれるように努力していきたいです。

松山東雲短期大学

現代ビジネス学科 1年 吉村 愛香

研修先 松山総合開発 株式会社松山全日空ホテル

インターンシップ研修を通して「働くこと」や「社会人になること」について、次の5つの点が大切であると学びました。①目標、目的をしっかり持ち、それに向けて仕事に取り組むこと、②自ら考え、行動すること、③人の話をしっかりと聞き、言うべきところで発言すること、④身だしなみ、表情、振る舞いに気を付けること、⑤円滑にコミュニケーションをとり良い人間関係をつくるということです。

この研修では人と接することが多かったため、あいさつや笑顔など表情に気を付けることや、仕事の丁寧さや満足度、作業と考えずお客様に喜んでいただけているかという細かいところまで考える、優先順位を意識し、仕事に取り組むことの大切さを学びました。

私は、この研修に参加して、報告のしかた、あいさつや表情に気を付けること、情報を整理する力を身につけ、自ら考えて行動し、それらを振り返り反省することが自分の成長につながることも学んだので、この流れを常に意識していきたいと思いました。また、今後も様々な経験を積み知識を増やしていきたいです。

聖カタリナ大学

人間健康福祉学部 人間社会学科 3年 吉野 沙南

研修先 新居浜市役所

私がインターンシップ研修に参加したのは、これまで大学で学んだことをもとに、社会人としてのスキルや振る舞いを身に付け、将来設計および就職活動に活用したいと考えたからです。また、実際に働いたり、職場の方とお話を聞かせていただいたりすることで、仕事や働くということについて、今よりも具体的に理解できるようになると思いました。

主な研修内容は、事務作業の補佐、現地視察、文書整理でした。その中で私が一番印象に残っているのは、現地視察で明治時代に別子銅山の作業場があった東平に行き、詳しく説明をしていただいたことです。建物や作業場が現存しており、施設内に入らせていただくことができました。また、旧社宅内の見学や昔の銅山の写真など貴重なものをたくさん見せていただき、あらためて地域の歴史について知ることができました。

インターンシップ研修を終え、今回の研修で体験できたことは業務の中でも一部でしたが、市役所の仕事というのは私が想像していたより臨機応変に対応しなければならないことが多いことを学びました。今後の生活では、さまざまなシチュエーションに臨機応変な対応が出来るように、日頃から心がけて行動したいと思います。



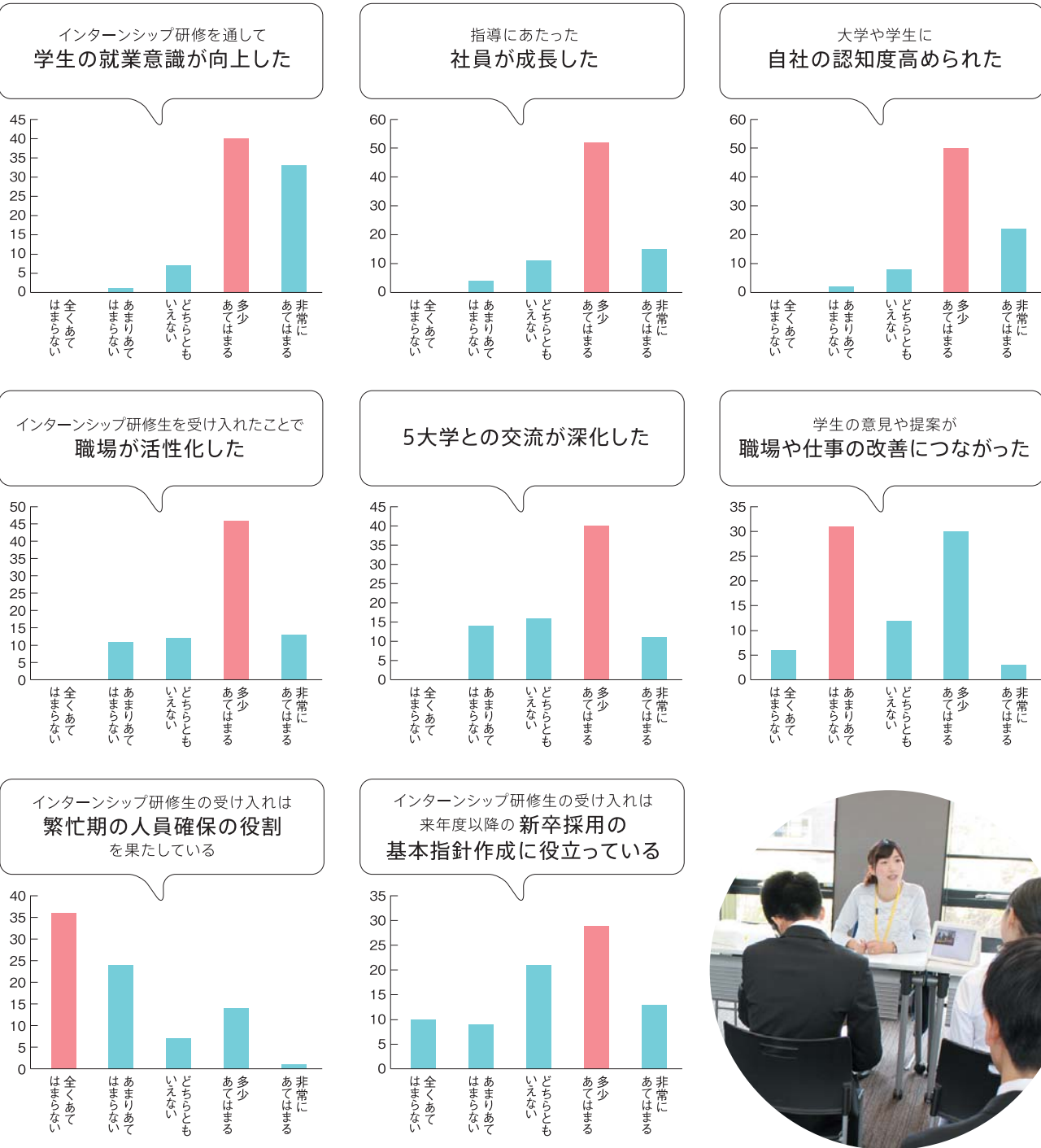
研修生受け入れ企業担当者 アンケート集計結果から

今後のインターンシッププログラムをより良くしていくため、今年度に参加していただいた125の企業・団体のご担当者に対して研修が終了した平成28年9月にアンケートを実施。そのうち82社から回答を得ました。

インターンシップ研修生を受け入れていただき、得られた効果としては「学生の就業意識が向上した」「指導にあたった社員が成長した」「大学や学生に自社の認知度を高められた」など、本事業の主旨をご理解いただきつつ、受け入れが組織の活性化やPRにも貢献していると、8割方企業・団体の皆様に感じていただいております。

反面、「学生の意見や提案が仕事の改善につながった」点については明確な傾向が見えず、学生のスキルによって差が生じていることがうかがえます。また、「(受入れが)新卒採用の指針作成に役立っている」という点についても同様の結果が表れていますが、こちらは学生の雰囲気採用指針の参考になる場合と採用とは一線を画したインターンシップの受け入れ対応が行われている場合、それぞれの効果の結果と解釈できます。

今年度、研修生を受け入れていただいた企業・団体の大部分がそのメリットを感じていただき、今後も継続して受け入れる意向を示していただいたことは、本事業への理解が進み、定着しつつあると考えております。



受入企業・団体一覧 (順不同)

1 株式会社アート不動産	51 株式会社スイッチカンパニー
2 株式会社アービズ	52 聖カタリナ大学
3 株式会社アール・シー・フードバック	53 株式会社セブンスター
4 株式会社アイクコーポレーション	54 株式会社大屋(ドラッグストアmac)
5 株式会社アステティックスジャパン	55 太陽石油株式会社
6 株式会社ありがとうサービス	56 DCMダイキ株式会社
7 社会福祉法人 育和会久万保育園	57 株式会社テレビ愛媛
8 社会医療法人 石川記念会 HITO病院	58 東京海上日動火災保険株式会社
9 一宮運輸株式会社	59 東京第一ホテル松山 八紘開発株式会社
10 今治市役所	60 トヨタ L & F 西四国株式会社
11 株式会社伊予鉄高島屋	61 南海放送株式会社
12 伊予鉄道株式会社	62 新居浜市役所
13 医療法人財団 尚温会 伊予病院	63 株式会社日本エイジェント
14 株式会社ヴァンサンカン	64 ニンジニアネットワーク株式会社
15 株式会社内子フレッシュパークからり	65 ネットヨタ南国株式会社
16 高齢者総合福祉施設 梅本の里	66 NPO法人 俳句甲子園実行委員会
17 株式会社エイチ・アイ・エス	67 株式会社ハウスメイトパートナーズ
18 SMBC日興証券株式会社	68 濱田農園
19 特定非営利活動法人 えひめグローバルネットワーク	69 株式会社ピオトープ
20 愛媛県警察本部	70 株式会社ヒカリ
21 愛媛県	71 特定非営利活動法人 ぶうしすてむ
22 愛媛県立とべ動物園(指定管理者:公益財団法人愛媛県動物園協会)	72 社会福祉法人 福角会
23 株式会社愛媛CATV	73 株式会社フジ
24 国立大学法人 愛媛大学	74 株式会社フジファミリーフーズ
25 愛媛トヨタ自動車株式会社	75 有限会社二神塾
26 愛媛トヨペット株式会社	76 ベストケア株式会社
27 株式会社えひめリビング新聞社	77 ベルグアース株式会社
28 愛媛労働局	78 星企画株式会社
29 株式会社エフエム愛媛	79 株式会社ホテル椿館
30 株式会社オートクチュール	80 公益財団法人 松山市男女共同参画推進財団
31 株式会社尾崎設計事務所	81 松山市役所
32 花王サンタリープロダクツ愛媛株式会社	82 松山赤十字病院
33 株式会社ガリレオコーポレーション	83 松山総合開発株式会社 松山全日空ホテル
34 株式会社協和	84 学校法人 松山大学
35 霧の森(株式会社やまびこ)	85 松山地方務局
36 こうち人づくり広域連合	86 松山ヤクルト販売株式会社
37 医療法人 こぐま小児歯科・歯科	87 株式会社マルク
38 特定非営利活動法人こころ塾	88 株式会社マルナカ
39 株式会社コモテック	89 株式会社松山三越
40 佐伯公認会計士事務所	90 株式会社三好鉄工所
41 西条市役所	91 有限会社やわらぎ
42 NPO法人 西条まちづくり応援団	92 医療法人 ゆうの森 たんぼほクリニック
43 佐川印刷株式会社	93 有限会社ゆうぼく
44 株式会社サニクリーン四国	94 有限会社ラボール
45 自衛隊愛媛地方協力本部	95 株式会社レディ薬局
46 四国医療サービス株式会社 国際ホテル松山	96 合資会社 ワークショップco.松山
47 四国中央市役所	97 特定非営利活動法人 ワークライフ・コラボ
48 シブヤ精機株式会社	98 東温市役所
49 株式会社ジョイ・アート	99 株式会社レオパレス21
50 ジョブカフェ愛work(愛媛県若年者就職支援センター)	